

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 特長	感染症(PT)	出典	概要
1069	2008/03/24	71069	化学及血清療法研究所	乾燥ボツリヌスウイルス抗毒素	ブイオン	ブタ胃	ニュージーランド、オーストラリア、米国	製造工程	無	無	無			
1070	2008/03/24	71070	化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン	ウシ肺臓	ウルグアイ	有効成分	無	無	無			
1071	2008/03/24	71071	日本製薬	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	有	無	C型肝炎	Clin Vaccine Immunol, published online doi:10.1128	抗HCV抗体陰性で、肝組織中のHCV RNA検出により潜在性HCV感染と診断された110例の患者由来の血清中のGOR抗体反応性を調べた。抗GOR IgG陽性患者は22例(20%)で、慢性C型肝炎患者での陽性率(70/110、63.6%)に比べ有意に低かった。HCVに無関係の肝疾患患者120例では抗GOR IgGは全く検出されなかった。市販の検査では抗GOR IgGを検出できず、血清中HCV RNAが検出されない患者で抗GOR IgG検査を行う事は、肝生検なしで潜在性HCV感染を同定する手助けとなる。
1072	2008/03/24	71072	日本製薬	トロンビゲン	トロンビゲン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	バルボウイルス	Transfusion 2007; 47: 1765-1774	B19ウイルスの不活性化機構を調べた。熱または低PHによるB19Vの不活性化はカプシド分解によるものではなく、感染性プリオンがDNA枯渇カプシドへ変換することによって起こった。DNA枯渇カプシドは感染性はないが、標的細胞に接着することは可能であった。Parvoviridaeの他のウイルスとの比較試験の結果、被殻状態でのB19V DNAの著しい不安定性が明らかとなった。B19Vが不活化処理に抵抗性が低いのはこのためと考えられる。
1073	2008/03/24	71073	日本製薬	乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	人アンチトロンビンIII	人血液	日本	有効成分	有	無	無	C型肝炎	Clin Vaccine Immunol, published online doi:10.1128	0710711に同じ
												バルボウイルス	Transfusion 2007; 47: 1765-1774	0710711に同じ
														0710711に同じ
														0710711に同じ